

外国人劇練習を公開

利賀SCOT 夏に「禿の女歌手」

南砺市利賀地域で稽古を重ねている外国人による新劇団「インターナショナルSCOT」の団員が27日、県利賀芸

術公園新利賀山房で、練習中の劇の一部を公開した。利賀を拠点に活動する劇団SCOTの団員や、同劇団の音楽劇



練習中の劇の一部を公開する外国人劇団員
—南砺市の県利賀芸術公園新利賀山房

制作プロジェクトに参加している県内の中学生ら約20人が見学した。

新劇団は、SCOT主宰の鈴木忠志さんが利賀の演劇文化を世界に広めようと結成した。団員は中国、韓国、米国、イタリア、デンマーク、リトアニアの20〜50代の演出家、俳優8人。鈴木さんの俳優訓練法を習得しており、毎年利賀で冬に稽古し、夏に作品を上演する。ことしはイヨネスコ(フランス)の「禿の女歌手」を披露する。稽古は11日にスタートし、31日まで行う。

鈴木さんが見守る中、劇の冒頭部分を公開した。団員たちはそれぞれの母国語で情感豊かにせりふを語り、喜怒哀楽を巧みに表現した。富山市速星中1年の田山緑さんは「表情や体の動きで伝えたいことをうまく表現していた」と感心していた。